

あかるく かしこく たくましく

令和6年4月5日 No. 1 文責：校長 佐野紳二

令和6年度のスタートです！ 1年間よろしくお願いします

78名の1年生と5名の転入生を迎え、405人の全校児童が揃い、小笠原小学校の令和6年度がスタートしました。今年度は新たに15名の新任職員（新採用2名を含む）を加え、40名の教職員で子どもたちの指導にあたってまいります。学校が子どもたちにとって居心地のよい、楽しい場所になるように、そして一人一人の子どもが自分のもつ力を可能な限り伸ばし、よりよい成長が図れるように、全教職員が一丸となって頑張ります。今年1年間、よろしくお願いします。

今年度の小笠原小学校のスタッフです

*保護者の皆様に配付させていただいた紙面には、全スタッフの氏名を掲載しましたが、ホームページへの掲載は控えさせていただきます。



4月はじめの職員会議で、すべての教職員が学校全体の担任であるという意識のもと、全職員が同一歩調での指導を行っていくことを確認しました。教職員一同、「チーム小笠原」として心をつにし、子どもたちの指導・支援にあたってまいります。子どものことで何か心配なことがありましたら、遠慮なく教職員に声をかけてください。



始業式での校長の話（一部）です。

今年も校長先生の目標は、小笠原小学校を笑顔いっぱいの「楽しい学校」にすることです。もっともっと「笑顔いっぱいの学校」を、みなさんと一緒に作っていきたいと思います。

去年の最初にも言いましたが、校長先生がめざしているのは、小笠原小学校にいる人の多くが笑顔になるとか、大体の人が笑顔になることではなく、全部の人が笑顔になることです。誰かが笑顔になるために、誰かが我慢をしたりいやな思いをしたりするのではなく、全員の笑顔が見られる学校を作っていきたいと思っています。とても難しいことかもしれませんが、ここにいるみんなで力を合わせれば、きっとできると思います。

そんな笑顔いっぱいの学校を作っていくために、今年はみなさんに2つのお願いをします。

1つめのお願い、「魔法のことば」をいっぱい使ってください。

笑顔をつくるための最強の魔法のことばは「ありがとう」です。そのほかにも「おはよう」「こんにちは」「さようなら・バイバイ」「いいね」「ナイス」など、笑顔をつくる魔法のことばはたくさんあります。みんなで小笠原小学校を魔法のことばがいっぱいの学校にしましょう。そうすれば、きっと小笠原小学校は笑顔いっぱいの素敵な学校になります。

2つめのお願い、「よい行動」をいっぱいしてください。

きっとみんなは今日、「今年はこんな1年にするぞ」という前向きな気持ちをもって登校してきてくれたことと思います。その気持ちを、具体的な「行動」にできるようにしていきましょう。

毎日の勉強もがんばりましょう。友だちと協力して活動しましょう。

困っている友だちがいたら、優しく声をかけてあげましょう。

そうじをしっかりとしましょう。下駄箱の靴もしっかり揃えましょう。

ろうかはずかにはあるきましょう。

こうした1つ1つのことをしっかりとやっていくことで、いつの間にか「当たり前」が「スペシャル・特別」になっていきます。

今年1年、令和6年度がどんな年になるか、校長先生はとてもウキウキワクワクしています。今の皆さんの様子を見てみると、すごい「やる気」を感じます。きっと笑顔いっぱいの小笠原小学校が作れると思います。

みんなで力を合わせて、小笠原小学校を笑顔いっぱいの学校にしていきたいと思います！



今年度もお世話になります校長の佐野です。今年度も引き続き小笠原小学校で仕事ができることをとても嬉しく思っています。今年度も学校通信「あかるく かしく たくましく」を毎週水曜日に、地域回覧用学校だより「愛する故郷 小笠原」を月末に月1回のペースで発行させていただきます。また、ホームページの「学校のひろば」も（子どもたちが登校してくる日は可能な限り）毎日更新を目指し、学校生活のようすを発信していきたいと思っています。

今年も小笠原小学校が目指すのは、「笑顔いっぱいの楽しい学校」です。この学校通信も、読んでくださる保護者の皆様が笑顔になれるような話題を提供していきたいと思っています。ご一読いただければ幸いです。

